（毎週水曜日発行）　高齢者住宅新聞　2016年1月20日号　〈第3種郵便物認可〉　第382号

トップあいさつ

2016年 年頭所感

抜粋・順不同

障がい者雇用と介護で地域貢献

南海ライフリレーション
桐田健代表取締役

少子高齢化の進む中、鉄道会社としてシニアマーケットへ参入することは、中期経営計画にもあげられた企業としての命題でした。

そして、鉄道会社が市場から期待されている地域社会に貢献する事業として、サービス付き高齢者向け住宅事業と訪問介護事業、障がい者雇用を融合したビジネスモデルで事業参入して早や2年が経ちました。

まだまだ軌道に乗ったとは言えませんが、高齢者とそのご家族、障がい者の方、そしてホームで働く人すべてが笑顔になり、ビジネスとして成立できるよう日々精進したいと思います。

地域に密着した高齢者事業強化

積水化学工業
関口俊一取締役専務執行役員住宅カンパニープレジデント

急速に進む日本の超「進・ハーベストメント」を発売、介護サービス会社2社をグループ傘下に収めるなど高齢者向け事業の本格展開を開始しました。また、昨年は、高齢者向け施設の企画・設計・施工から運営まで一貫して行う「ハイムガーデン」第1号を東京・立川市に開設しました。

今年は「ハイムガーデン」開設を拡大し、施設建築に留まらず、街づくりなど含め地域密着型の高齢者向け事業強化を一層進めてまいります。

家族とケア職で在宅の看取りを

みんなのMITOR！研究会　近藤和子代表

その時代の国民の健康課題を啓発し、ヘルスプロモーションを企画するのも看護職の大切な役割です。2015年11月から開始した在宅医療の勉強会《看取り・新時代》（勇美記念財団助成）の登録者数は15職種以上250人に至りました。《2025年問題》の課題解決には、家族とケア職が〝在宅看取り〟への怖れを乗り越えるための地域連携モデルの構築が急事例と叡知を集め、高齢者住宅環境への提言はもちろんのこと、地域包括ケアの連携のあり方を《看護の視点》で発信していきます。

外部の社会資源積極活用を支援

一般社団法人北海道高齢者向け住宅事業者協会
奥田龍人理事長

私どもは、北海道にかなり増えているサービス付き高齢者向け住宅やシニア向け住宅などの質の向上を図る事業者団体で、賛助会員も含め180社・団体が加入しております。高齢者向け住宅の生活相談員養成研修事業や定期的な研修会、事例検討会などを開催しております。

今年は新たな取り組みとして、外部の社会資源を積極的に活用するための「地域の資源ガイドブック」を作成します。また、高齢者向け住宅の第三者評価事業も再開する予定です。地域に開かれた高齢者向け住宅となるよう、質の向上を支援していきます。

地域包括ケアで多様性育む社会

NPO法人地域の絆
中島康晴代表理事の信頼と互酬性の関係を再興することにあると信じております。人びとの権利擁護に資する地域包括ケアを志向する以上、私たちの法人では、後者の実践を執拗にも堆積していきたいと思っております。

地域包括ケアが、多様な人びとの対話と関わりを通して、地域に基本的人権と多様性尊重の風土が醸成される地域変革と地域包摂に貢献し得ることを実践を通して示していきたいと思います。真の地域包括ケアには、社会を変える原動力があることを…。

定期巡回介護で在宅生活継続を

ピースクルーズ
田中知世子代表取締役

24時間365日CoCoケア24（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）がその人らしい高齢期を支える。2016年は2025年問題に向け介護保険の有りようが整う始まりの年と考えます。2000年から始まった介護保険も改正を重ねいよいよ総括されることでしょう。

今後、私達は、「CoCoケア24」を在宅生活を継続させるための地域の理解とご支援ようお願いす。

ユニフォ組織力向

ソーイングボ
菅沼蔵人

メイドでユニ提供しておい料」から「医を変える〝を リジナルデザだけなく、ユ作成を通じた のブランディ力向上もご提ます。

M&Aの加が叫ばれる中ユニフォーム容も変わりす。これまでとらわれず、の要望にお応う社員一同精ます。

リハ・透日中合弁

ジュリオインナル　栗原

大学第3病院療法士協会、